



Y's Men International
Y Service Clubs International

YMI WORLD

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

Only for private distribution to members



内容：国際役員からのメッセージ・2016 国際大会－ベテラン参加者の回想・立法：憲法の枠組み・第16回国際ユースコンボケーション－概要報告・2016 IYC ハイライト：ユースパネルディスカッション・公式記録用：名前は何を語る？・世界各地からのワイズ活動報告・魂の真言：我々に必要なものは愛－そして多くの対話



編集担当者より

敬愛する読者の皆様へ

ひょっとすると読者の皆様は、ワイズメンズワールド誌(YMW)に何が起きたのかと驚かれているかもしれません。ワイズメンズクラブ国際協会公式出版物としての名称が、YMI



Worldに改称されたので、これからは、YMWが使われることはありません。変更の理由は、「時代の現状の変化と諸事情を考慮した結果」であること2016国際議会の関連議事録にあります。

ジョン・ウイルソン国際会長から、ご親切にもこの重要なコミュニケーション手段であるYMI Worldの編集担当者として続投するようにとの要請がありましたので、喜んでお受けしたいと思います。国際会長有難うございました。

私の経験からすると、世界のワイズ運動に関してニュースの題材となる奉仕活動には事欠きませんから、四半期ごとに16ページのYMIを発刊するという私の決定は、正当なものです。今のところ全てのエリアの為の十分な紙面がありますので、皆様の奉仕活動報告とワイズ運動に関わる諸問題についてのご意見をお寄せ下さい。

光栄にも8月初旬に台北で開催された国際議会に出席することになり、ここ数ヶ月間メール連絡を取り合ってきた方々とお目に見えることができただけでなく、我々のような国際的組織の活動を身をもって知ることができました。国際大会には、出席することが出来なかつたので皆様にその内容を直接お伝えすることは叶いませんが、運よくハワイのレイ・セト・ワイズの報告入手できました。本号では、カイムキ・ワイサービスクラブのプリテンを基に

国際大会の模様を再現しました。レイワイズは、国際大会の出席経験がとても豊かで、台湾国際大会の第1番目の登録者です。レイさんおめでとうございます!

本号では、国際議会で明らかになった事柄、特に国際憲法の重要な修正とTOF-GPFプロジェクトについて皆様にお届けしようと思います。もともと国際会長の電子ニュース用に執筆され、本号の為に書き直した「憲法の枠組み」の記事についてシリビアに感謝します。

コミュニケーションと広報に関して国際議会は、今年度に出版される最優秀エリアプリテン賞を設けました。エリアの指導的立場に就いているワイズは、それぞれの責任を果たし、最善の方法で奉仕活動を立案し、本部にプリテンを送付して評価をお待ち下さい。

YMIワールドの本号は、最近台北で開催された二つの主要な行事である国際大会と国際ユースコンボケーション(IYC)に焦点を当てています。国際議員とIYCのパネルディスカッション参加者との交流に参加できたのは、貴重な経験でした。それは、ワイズ運動の将来が、決して暗くはないことを私に確信させてくれました。ワイズメンズクラブ国際協会は、ユースの若さ溢れるエネルギーを活用して、若い会員を獲得する基礎作りへと転換しなくてはなりません。本号には、ユースからの寄せられた記事もしくはユースに関する記事が四つ、いえ五つ掲載されています。特にステファニーとフォラの寄稿には感謝しています。

引き続き皆様のご支援をよろしくお願いします。

あらん限りの幸運を祈りながら

ワイズの心を込めて

コシー・マシュー

私の本棚から

2016/17 第1号YMI WORLD
ワイズメン インターナショナル／
ワイ サービス クラブズ
インターナショナル公式出版物
本部所在地:Ave Sainte-Clotilde 9, CH-1205,
Switzerland

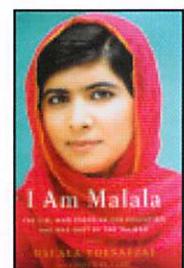
発行者:ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区理事 岩本 悟
東日本区理事 利根川恵子
国際編集長 Koshy Mathew
日本語翻訳・編集責任者 谷本秀康(東広島)
日本語版翻訳委員 倉田正昭(京都)
谷川 寛(大阪センテニアル)
青木一芳(千葉)
後藤邦夫(東京まちだ)
今城高之(横浜つづき)
田中博之(東京多摩みなみ)
印 刷 (株)三浦印刷所

表紙の写真:2016台北国際大会開会式から

マララ・ユスフザイ／クリスティーナ・ラム共著

『私は、マララ:教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』

タリバンがパキスタン・スワート渓谷の支配権を握った時、1人の少女が明確に自分の意見を主張しました。マララ・ユスフザイさんは、沈黙を強いられることを拒否し、自らの教育を受ける権利の為に戦いました。



2012年10月9日(火)、当時15歳だったマララさんは、命を失うことで自分の取った行動の代償を払うことになりました。下校中のバスの中で至近距離から頭部を撃たれたので、彼女が命を取り留めると予想した人は、ほとんどいませんでした。

ところが、マララさんの奇跡的な回復が、彼女を北パキスタンの人里離れた渓谷からニューヨーク国際本部の大広間への旅にいざなうことになりました。マララさんは、16歳で平和的抵抗運動の世界的なシンボルとなり、最年少のノーベル平和賞受賞者となりました。

『私は、マララ』の内容は、世界規模のテロ行為によって住処を追われた家族、女性の教育を求める戦い、娘の後ろ盾となって文字を書き、学校に通うことを奨励した学校の経営者である父親、息子を重んじる社会の中で娘に深い愛情を注いだ勇敢な両親といった多岐にわたる素晴らしい本です。

『私は、マララ』は、世界を変えることを鼓舞する1人の声が持つ力の素晴らしさをあなたに確信させてくれるでしょう。

(Goodreadsの書評)



国際会長からのメッセージ

親愛なる友人の皆様へ

“YMI World”という新しく、より現代的な名称の下で発刊された我々の国際機関誌第1号に寄稿することを光栄に思います。また輝かしい新年度の編集担当者として、多くの前向きな変更を実施されたことに対してコシー・マシューワイズにお祝いの言葉を申し上げます。



“YMI World”を通じて今年度も素晴らしいワイズメン／ワイサービスのニュースが届かれることを期待しております。

今年の夏、台北で開催された国際大会で多くのワイズメン、ワイサービスクラブの会員の方々にお会いできたことは、幸いでした。全てのエリアからあれほど多くの参加者が来られたのを目の当たりにして素晴らしいと感じました。

この国際大会を一体感のある大会にまとめ上げた台湾区のご努力に対して心より賛辞を送りたいと思います。私の思い出に残る多くの事柄には、YMCAの指導的な立場にある先達の方々の参加、美しいホテルと会場、素晴らしい余興、豪華な食事、多くの会議へのユースの参加、多くの交流と笑い声などがありました。とりわけ北投温泉で開催された国際議会は生産的で実り多いものでした。素晴らしい訪問を企画して下さった全ての台湾のホストの皆様に感謝申し上げます。

国際会長主催晩餐会において私は、国際ユースコンボーションの参加者を含めた全ての参加者に対して基調講演をおこないました。(全文は、YMIのウェブサイトをご参照下さい。)私は、ワイズ運動の中核となる価値観について語りましたが、組織誕生以来これほど多くの年月が経過しているにもかかわらず、現在もその価値観は、色あせていません。私は、YMCAとの

手を取り合う五つの方法 (CLEAR)

C:コミュニケーション—明瞭で首尾一貫したメッセージ、迅速な返事、時を得たメッセージの送信。

L:リーダーシップ—模範的な、人に仕えるリーダーシップ;自らの仕事に責任を持って献身的に取り組む気構えを持つ。

E:エブリワン—若いメンバー、ネット、家族を取り込み、全員が目標達成の為に取り組む必要がある。

A:アクション—現在直面している課題に取り組むにあたって先延ばしはできない。進行中の奉仕プロジェクトを支援し、あらたなプロジェクトを模索する。全員が退会者でないように努力しなければならない。新しくチャーターされたクラブは、常に先達による指導が必要である。

R:リスポンシビリティー—大小に関わらず1人1人のメンバーが自らに課せられた義務を果たさなくてはならない。共に前進できるように問題解決に当たっては、全員で取り組まなければならない。

特別な関係についても語りました。世界のある地域においては、幾つかの課題があるにも関わらず、我々は、現在も強い協働関係を維持しています。私の主題「私たちの未来は、今日から始まる」とスローガン「手を取り合えば、もっと多くのことができる」について語り、手を取り合ってできる5つの方法(欄内を参照)を提示しました。

責任の大小にかかわらず、ワイズ運動の1人1人の責任において五つの手段を活用し、皆様のクラブが同じ様な方法で実行する手助けをするよう奨励します。個々の会員とクラブがそれぞれの役割を果たすことによって、大きな変化をもたらす事ができるのです。

本年度から始まった3つの新しい事柄について皆様にお知らせしたいと思います。その第1が、毎月20日頃に発刊される月間国際会長電子ニュースです。翌月の強化月間に焦点をあてた記事とその他の短いニュース記事をご覧になれます。YMIのウェブサイトで第1号から第3号までを閲覧できます。

第2番目が、献身的なチームが1年をかけて立案したリーダーシップ開発の為の地球規模の機会(GOLD)2.0プログラムです。このプログラムは、若い会員とユースがワイズ運動や、他のプログラム開発やコミュニケーション技術などについて学ぶ手助けをする、インターネットを使った双方向学習ツールです。推薦を受けた若い会員とユースに今年度を通じて提供されます。将来、会員であれば誰でもこの素晴らしい訓練ツールを利用できるようになります。GOLD2.0プログラムへの応募方法については、リンク用のウェブサイトをご覧下さい。

最後に、本年度は“優秀奉仕活動認定”という名称の新しい国際会長認定証を設けました。その目的は、クラブが実施している日頃のプロジェクトの成果を認定することです。申請は、プロジェクトの内容を説明する数文を添付して電子メール joanakawilson@gmail.com で送るだけで事足ります。説明文には、プロジェクトで恩恵を受ける人、プロジェクトの具体的な内容と頻度、進行中のプロジェクトの写真(グループ写真ではなく、実際の活動中の写真)を入れてください。審査を経てメールでクラブの認定証が届きます(ですから、クラブ会長名、Eメールアドレスをお忘れなく)。認定証は、印刷して額に入れたり、地元地域社会の広報に使用することもできます。地元地域社会に奉仕している我々のクラブに関するEメールが山のように私に寄せられることを願っています。我々の素晴らしい奉仕活動を賞賛しましょう!

2016-17年度の私の国際会長目標は、国際会費支払い済み会員の実質成長率5%の達成と国際プログラムの支援です。エリア会長の皆さんには、私の目標よりもさらに高い目標を掲げいらっしゃいますが、それらを達成できることを心から願っています。しかし、その為には、現会員がなすべき仕事に積極的に関わって尽力しなければ実現できません。ですから、本年の目標を達成する為にあらゆるレベルで皆様のリーダーを支援するよう奨励します。手を取り合えば、もっと多くのことができる! ということを忘れないで下さい。

皆様がYMCA、地元地域社会、世界中の助けを必要としている人々の為に奉仕されるように祈っております。

ワイズの心を込めて

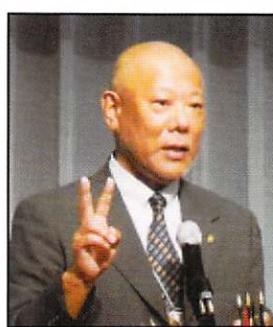
2016-17年度国際会長
ジョアン・ウイルソン



国際書記長から

親愛なる同胞の皆様へ

国際議会(ICM 16)及びその関連会議が7月最終週から



8月第1週にかけて台湾の北投温泉で開催されました。国際議員兼エリア会長であるトゥン・ミン・シャオ・ワイズのリーダーシップの基、台湾区事務所、台北ワイズメンズクラブのリーダーの方々が協力して議会開催に伴う諸々の手配と準備をして頂いた事に関して、関係者一同、この紙面をお借りして地元大会実行委員会の皆様に重ねて感謝申し上げます。

15名の国際議員全員に加えて、複数の国際事業主任、専門委員会委員長、その他の指導的立場にあるオブザーバーとネットの方々が出席されました。2日間に亘る国際執行役員の会議の後で1日かけて国際議員研修が行なわれ、更に3日半の国際議会が開催されました。ジョアン・ウイルソン国際会長が議長を務めたこの会議では、精神的にも肉体的にも消耗しましたが、実り多い会議でした。様々な役職にあるリーダーからの報告書を検討して熱い議論を戦わせ、提出された62の動議が審議されました。その重要な動議の1つ(第49号議案)が、2017年7月1日から施行される国際選挙に関するものです。この動議は、「区は指名の時点で現国際会長もしくは現次期国際会長と同じ地域の出身者をなに人たりとも次期国際会長職に指名してはならない。」というものです。

この動議は、直前、現、次期国際会長三役のバランスを取るのが目的であることから、過半数の支持を得て可決されました。

これは国際憲法に関わる改正であって、全てのクラブの最終的な承認を必要としますので、この件に関しては、間もなく国際本部から連絡が入ります。もう1つの動議が立法役員のガイドラインに関する「指名を受けた者は、国際議会により定められた資格要件を満たさなくてはならない。しかしながらエリアは国際議会の承認を得てエリア独自の資格要件を定めることができる。ただし、青年会員国際議員の資格に関しては、国際議会によってのみ定められる。」というものです。国際プロジェクトに関しては、8つのTOF-GPF補助金の申請が承認されました。それらの1つが「韓国ワイズメン医師の無料医療サービス」(カンボジア、ラオス、ミャンマーでのプロジェクト)です。

上記の主要な会議の出席者は、共同パネルディスカッションに出席する為に、近くのホテルで開催されていたユースコンボケーションの代表を訪問しました。世界各地から100名を超える代表が参加していましたが、彼らの活力は、ワイズ運動の将来に明るい希望を抱かせました。

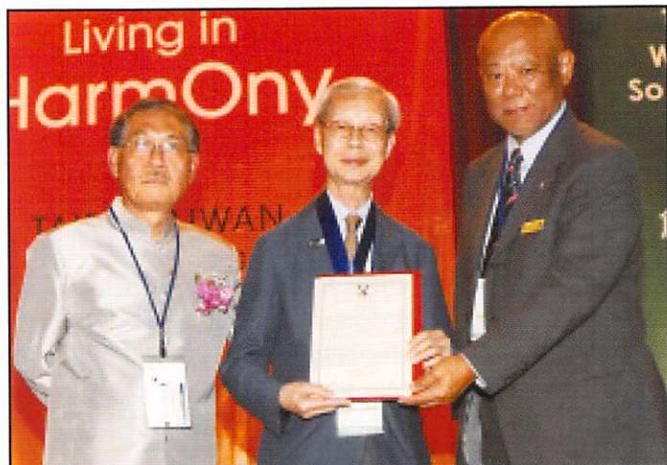
最後にチェンマイのサテライトオフィスが現実のものとなりました。私が新しい事務所に転勤して以来、すでにタイからだけでなく区の他地域から何人かの訪問客がありました。世界のこの地域の全ての指導者の方々と引き続き交流することを期待しております。

ワイズの心を込めて
西村隆夫

ニュース短評

2016年バランタイン賞

8月に台北で開催された国際大会において、香港部出身のチャウ・ワイン・ピン元アジアエリア会長が、直前国際会長



ウイッチャン・ブーンマパジョンと国際書記長の二人からワイズ運動への長年の献身的奉仕を称える栄えあるバランタイン賞を受け取りました。

チェンマイのサテライトオフィス開設

8月19日よりタイ・チェンマイのサテライトオフィスが開設されました。現在、西村隆夫国際書記長は、主にチェンマイYMCAの2階にあるこの事務所に駐在しています。トレイシー、アンドリュー、アミン、ジェイムズの4人の事務局員は、引き続きジュネーブ本部で事務処理と会計処理を担当しています。2つの事務所は、改良されたEメールとファイル共有と保管の為のインターネット処理を利用して緊密に連絡を取り合っています。Portalbuzz データベースや Go To Meeting を使ったビデオ会議などの新しいツールの使用は、伝統的な会議の開催にかかる経費を削減しようとする多くのエリアや区でも人気があり、役に立ちます。

アジアエリアと南太平洋エリアが統合

2016年8月4日アジアエリアと南太平洋エリアが正式に統合されました。オーストラリア区は、新に改称されたアジア・太平洋エリアに併合され、ラッセル・ジョーンズ氏(オーストラリア)が、2018年6月30日まで引き続き国際議員の職に留まり、トゥン・ミン・シャオワイズ(台湾)も、同時期までアジア・太平洋エリア会長の職に留まります。



2016年 国際大会

ベテラン参加者の回想

レイ・セト

この記事は、レイ・セトワーズが所属するカイムキYサービスクラブ9月号ニュースレターの記事を転載したものです。レイワーズ(右の写真)は、国際大会に20回以上出席したことで特別表彰を受ける為にこの場にいます。-編集担当者注

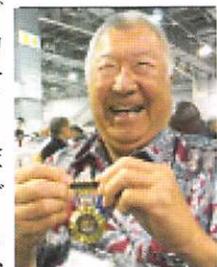
我々五人は、第72回国際大会に参加するために8月2日早晨、台北に到着しました。そこで我々を出迎えてくれたのが、オースティン・リン、マーク・リン、スプリング・ユーの三人の台湾のワイスメンでした。

大屯ゴルフクラブで8月3日にロールバック・マラリア(RBM)ゴルフトーナメントが開催されました。ゴルフをするには、暑くて湿気の多い日でしたが、お借りしたクラブを使って私なりに最善を尽しました。トーナメント終了後、私達は、第72回国際大会歓迎晩餐会とRBMゴルフトーナメントの表彰式の為に北投温泉に移動しました。台北セントラル・ワイスメンズクラブ

は、RBMの為に1万米ドルを寄付すると誓約していました。トーナメントでこの額の募金を集めると予定でしたが、目標額に届かなかったので、差額を埋めあわせようとして歓迎晩餐会で募金箱が設置されました。RBM王女まで登場して、献金を訴えました。その努力が報われ、トーナメントと晩餐会合わせて1万米ドルの募金が集まりました。

国際大会は、8月4日の登録で始まりました。登録カウンターでは、台湾のクラブが国際大会のロゴ入りTシャツ、帽子、ペン、箸、大会バッヂ、クッキーなどのお土産を販売していました。それらの売値は、全て最低100新台湾ドル(3米ドル)でした。

開会式は、円山大飯店の宴会場で午後2時に始まりました。伝統的なフラッグセレモニーに続いて聖書のヨハネによる



引継ぎ式:ウイッチャン・ブーンマパジョン直前国際会長から国際会長バナーがジョアン・ wilson新国際会長に手渡される(左)。
新国際会長がヘンリー・グランドハイム新次期国際会長を歓迎する(中央)。新しい国際執行役員が記録簿に署名する(右)。

福音書第1章を開いてキャンドルが点火されました。晩餐会の開会に続いて10品目の台湾コース料理が提供されました。台湾のアーチスト達による獅子舞と音楽の演奏は、歓迎会の夕べに色と音の花を添えました。軽業師達のパフォーマンスは、素晴らしいの一言でした。

翌日は、西村隆夫国際書記長の報告が始まりました。報告のハイライトは、彼の2回目の5年雇用契約の改正でした。国際議会との交渉で国際書記長の契約期間を5年から4年へと短縮することができました。そして契約を1度延長することで、元々契約した10年ではなく8年だけ国際書記長を務めることになります。将来の雇用契約は、最大で1期4年間の2期までとなります。西村国際書記長によると彼の事務所は、現在タイのチェンマイにあり、事務局員は現在もジュネーブの本部に居るそうです。この措置によってジュネーブ事務所の

賃貸料を押さえることができました。先端技術を利用して西村国際書記長は、タイに居ながらにしてジュネーブの事務局員と定期的にビデオ会議ができるそうです。

午前の部は、表彰式とYMCAからのメッセージに大部分の時間が費やされました。香港のチャウ・ウイン・ピンワーズがワイス運動に対する長年の献身的な奉仕を称えるバランタイン賞を授与されました。

昼食には、お弁当が配布されました。昼食後、分科会が開催されたので、私は地域奉仕/RBM分科会と参加者の為にお茶席が設けられたワイスネット分科会に出席しました。その後に同じ部屋でカナダ・カリブ海エリア、ラティアメリカエリア、アメリカ合衆国エリアの合同会議が開催されました。

p.6に続く



RBMゴルフトーナメントの参加者



誓約した献金額の目録をジョアン国際会長に手渡す



晩餐会のプログラムは、エクスポ・パークに移動しました。往路は、我々全員をバスで運んでもらいましたが、ホテルまでタクシーで10分かかる復路は、自分達で帰らなければなりませんでした。正式には、次期国際会長主催晩餐会と呼ばれる催しは、10品目の料理から成るフルコースの夕食で、エリア代表団による余興と相まって素晴らしい晩餐会となりました。アメリカ合衆国エリアは、全員でヒップホップダンスを踊りました。

3日目の8月6日(土)のプログラムは、エクspo・パークのエクspo・ドームのホールで開催され、分科会の報告がありました。続いてIBCトライアングルの締結と国際大会に参加したクラブの中で2組のIBCの締結が実現しました。私には、台湾の高雄ワイズメンズクラブと香港のペニンシュラ・ワイズメンズクラブからIBCを締結したいとの申し出がありました。高雄ワイズメンズクラブは、東京世田谷クラブとカイムキYサービスクラブとの間でIBCトライアングルを締結することに興味を示しています。昼食は、またお弁当でした。



夜のプログラムもまた素晴らしいものでした。国際会長主催晩餐会と呼ばれる催しの呼び物は、ジョアン・ウイルソン



国際会長の演説と前回の国際大会中に発案されたチャンピオンズ賞の授与式でした。青木一芳ワイズと私の2人の参加者が、20回以上国際大会に参加することで特別大型メダルを授与されました。私が国際大会に参加したのは、今回を含めて22回、青木ワイズにとっては、20回目の参加でした。

閉会式は、日曜日に開催されました。ユースコンボケーションの報告を含む伝統的な閉会式でした。2018年8月2日-5日に2018国際大会を麗水で開催する韓国エリアは、韓国の名所旧跡や呼び物に関するプロモーションフィルムを上映しました。大会テーマは、“Yes we can change!”です。

カイムキYサービスクラブの厚意により転載

2016国際大会でのジョアン・ウイルソン国際会長演説からの抜粋

国際会長として今夕、皆様方の前に立つことを光栄に存じます。ワイズ運動と会員の皆様に奉仕できることは、私にとって誠に光栄なことであります。自らの義務を果たす為に最善を尽くつもりです。

他者の為に奉仕する-という理由でワイズメンズクラブ国際協会は、94年前に誕生しました。我々の組織の創設者であるポール・ウリアム・アレキサンダーは、強いキリスト教的基盤を持ち、若者に積極的かつ魅力的な活動を提供することを重視する地元のYMCAが、そのプログラムを継続する為には、支援と励ましが必要であると考えました。そのようにしてワイズメンズクラブが誕生し、直ちに世界中に広がりました。他の人達は、このことは、YMCAの素晴らしい事業を支援することによって地元地域社会の困窮している人々を手助けする建設的な方法であると考えました。

時間の経過と共に、ワイズメンズクラブは、YMCAの為だけではなく地元地域社会のしいたげられた人々に直接奉仕するようにその活動を広げました。時にはYMCAのない地域にクラブが誕生しました。また時には、YMCAがクラブの設立の支援を行いました。国際的運動としてワイズメンのプロジェクトは、すべての会員によって支援されるプログラムへと展開して行きました。現在進行中のプロジェクトとしてBF資金やTOFグローバルプロジェクト資金があります。このようにワイズメンは、YMCAと地元地域社会と世界中の困窮者に奉仕するという三つの目的を達成しています。

ことによると皆様は、今夕なぜ私がワイズメンズクラブの歴史を紐解いているのか疑問に思っているかもしれません。時間の経過に伴って我々が直面している様々な変化の真ただ中で我々の眞の目的を思い起こすことは、極めて重要であると信じています。それらの変化とは、ボランティア活動に対する社会の考え方の変化、およそ70年に及ぶワイズメンズクラブの存在する国々の文化的相違、YMCAとワイズメンズクラブとの関係の変化、異なる国でのYMCAの広報の変化、若者の取り込み方の変化などです。

我々が直面している全ての変化と課題の中で、自分達は誰なのかを忘れないようにしましょうー我々は、多くの信仰と文化を持っており、貧しく、援助を必要としている人々の生活を改善する為にYMCAと協働して地元地域社会と世界中で共に働いているのです。

皆様の代表である国際会長として私の選んだ主題は、「私たちの未来は、今日から始まる」、スローガンは、「手を取り合えば、もっと多くのことができる」です。次年度の為に現実的な目標を設定し、それを達成する為に努力

するべきであると思います。私たちの未来は、今日から始まる!ですから、直ちに仕事に取りかかる必要があります。そして手を取り合えば、もっと多くのことができる!ですから、最高の結果を達成する為に会員全員、ネット、家族、ユース、会員の子弟を運動に巻き込む必要があります。「強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う」という我々のモットーを思い起こしましょう。

確かに今日ワイズ運動は、多くの課題に直面しています。それらの中には、会員数の伸びの鈍化、歳入の減少、若い会員の獲得と維持、ボランティア活動に対する世界の考え方の変化、2022年に向けた私達自身が設定した計画の目標を達成することができます。しかし、過去においても私達は多くの課題を抱えていましたが、それらを克服してきたのです。ですから私達は、今も将来も直面する課題を克服できると確信しています。

本年度の私のビジョンと目標の一部として、生産的に前進する為の幾つかの方法を提示します：

ワイズ運動の核となる価値観を心に留めましょう。

・さまざまのレベルでの成果をもっと称えよう。

・電子通信手段とソーシャルメディアをもっと活用しよう。

・我々の課題に取り組むために必要に応じて変革しよう。

・支払う会費が最大限の恩恵を生むように経費削減の方法を模索しよう。

・ワイズ運動に変化をもたらすことのできる新しいプログラムを始めよう。

・ワイズ運動における自立した成人会員となれるようにユースと若い会員を育成しよう。

・毎年、現実的で達成可能な目標を設定することによって、会員増強に着手しよう。

移り変わる世界の現状の課題に対処する為にワイズメンは、変化し進化し続けると私は、確信しています。私は、1会員としてその変化に携わりたいと思っています。また、ワイズ運動の発展、YMCAと、地元地域社会と世界中の貧しい人達に今まで以上の奉仕をする為に皆様一人一人が私と手を取り合って最大限の成果を得る為に努力をされることを願っています。忘れないで下さい：私たちの未来は、今日から始まる!を実践するのは、我々の責任であることを。そして、手を取り合えば、もっと多くのことができる!ことを。

皆様に感謝!

憲 法 の 枠 組

シルビア レイズ デ クロチ憲法検討委員会委員長

通常自分達が気づいていない場合であっても、全ての我々の奉仕活動、クラブ会員や役員、さらには全てのレベルの役員の行動やクラブ全体の行動は、我々の憲法(定款)の強く搖るぎのない枠組みの中で実践されています。

クラブ、部、区、エリア、国際レベルに至るまでそれぞれの憲法(定款)は、様々な文化が共存する地球規模のシナリオの中で、我々がその使命を実践し、目標を達成する為に合意した諸規則を定めています。

これらの憲法(定款)は、我々のあるべき姿を定め、我々の愛するクラブに所属し、様々なレベルでクラブが活発に活動することを可能してくれます。その中で(部、区、エリア、国際で)連携し協力する上で他のクラブとの関係性を持たせてくれます。

日常的に気づくことのない、そしておそらくは目にさえ見えないこれらの憲法(定款)は、あるべき姿を示しています。それは強固で何ものにも屈すことのない契約の枠組みなのです。換言すると、それは、徹底的に議論した上で受け入れた合意事項もしくは、そのグループのアイデンティティと運営方法を守る基本的な規則に従って行動している組織に所属することによって受け入れた合意事項なのです。それがゆえに明文化されたそれらの基本合意は、大文字のCで始まるConstitutions(憲法)であり、我々を団結させる誓約とも言えます。

我々のクラブは、それぞれのクラブの憲法(定款)の枠組みの範囲でのみ自治権を有しています。決して国際憲法の規定と矛盾してはなりません。その白いキャンバスの枠組みの中で自分達がしたいと望む、適切なワイス奉仕活動のイメージを描くこ

とができます。そのようなクラブが共に所属することで、ワイスメンズクラブ国際協会が誕生したのです。

変化し続ける世界の荒波の中で、その核となる価値観を守り続けるワイスメンズクラブ国際協会も、変わらなければなりません、さもなくば滅亡の憂き目に会うでしょう。

従って、時にはこれらの憲法には、修正が加えられます。しかしそれらの修正は、石の上に書かれていないので、修正の為には天の声が必要です。認められた正規の手続きを経て、明文化され、合意されて初めて修正ができるのです。

今がその変化の時です。国際憲法にあなたのクラブが加えることのできる修正について、さらには、必要に応じてあなたのエリアや区の定款に加える修正に関して注意を怠らないように、YMIの皆様一人一人、ワイスメン・ワイスウイメン読者が変わるべき時なのです。

新体制の国際議会の1年間に亘る実効ある働きにより、国際憲法の規定にいくらからの微調整が必要であることが判明しました。例えば:あなたが属するエリアは、エリアの青年会員国際議員がエリア会長に就任できると考えていますか?あなたは、あなたが属するエリアが国際憲法に既に定められている資格要件以外に、エリア独自の国際議員候補者資格要件を定めることを望みますか?更にワイス運動のグローバルなバランスを考慮して、特定の年度に国際会長、次期国際会長、直前国際会長が異なるエリアから選出されることを望みますか、望みませんか?

これらの質問は、間もなくあなたのクラブに送られることになります。そしてそれらに対する回答が国際憲法と結果的には全てのエリアの憲法(定款)に影響を及ぼすことになります。

忘れないで下さい:我々の憲法の枠組みを規定する最終的な決定権は、常にワイスメンズクラブ国際協会に所属するクラブにあるということを。

緊急を要する二箇所の憲法修正

台北で開催された国際議会において4つの動議が承認され、修正案についてクラブは、投票するよう求められます。以下の修正箇所を参照。

1つ目の修正箇所は、国際会長三役(国際会長、次期国際会長、直前国際会長)のバランスに関わるもので、次期国際会長選挙に関する国際憲法第5条の修正動議が提出されました。この動議は、議会の過半数の賛成票を得て承認されました。提案された修正案は、「2017年7月1日をもって国際会長三役は、それぞれ異なるエリアから選出されるものとする。」というものです。この修正案は、クラブの投票に付される必要があり、2016/2017年度国際選挙期間中に投票が実施されます。

従って、第5条第2項は、その最後に以下の文を挿入して修正されることになります。「2017年7月1日をもって、区は推薦の時点で現国際会長もしくは現次期国際会長と同じ地域の出身者をなに人たりとも次期国際会長職に推薦してはならない。」

2つ目の修正箇所は、ワイスメンズクラブ国際協会立法役員の資

格要件に関するものです。憲法検討委員会が国際議会に提出した報告書は、全ての国際役員候補者、特に国際議会議員候補者については、英語の運用能力を含めて協会の定める基準に準じて資格認定されることを強調しています。エリアは、国際議会の承認を得てエリア独自の資格要件を定めることができます。青年会員国際議会議員の資格に関しては国際議会によってのみ定められることになります。

従って第4条立法役員、第3項は、「選挙期日の90日前迄に」の文言の直後に以下の文を挿入して修正されることになります。「この候補者は、国際議会により定められた資格要件を満たさなければならない。地域(エリア)は国際議会の承認を得て地域(エリア)独自の資格要件を定めることができます。青年会員国際議会議員の資格に関しては、国際議会によってのみ定められる。」

上記の二つの動議及びその他の動議は、投票に付する為にクラブに送られます。それらを発効させる為には、あなたの属するクラブからの返答が不可欠です。

国際本部(2/2016/17理事メモ)より



ユース

第16回国際ユースコンボケーション

6ヶ月を少し超える周到な準備の後に、ワズ運動が展開されている全ての地域から若い代表者達が台湾の台北市中心

部にある劍潭海外青年活動センターで開催された第16回ユースコンボケーション(2016 IYC)に参加する為に旅してきました。

2年に1度開催されるIYCは2016年8月1日～7日に開催され、92名の参加者と5名の世話役が参加しました。

2016 IYCの重点課題は、『奉仕の実践－率先して行動しよう』という主題に要約させています。IYCの代表者達は、すでに身につけている能力を高め、率先して更に指導力を發揮するよう奨励され、権限を託されました。この「ミッション」は、IYCの日程表に反映されていました。それに盛り込まれていた会議や活動は、代表者の潜在能力と生まれながらの長所を最大限発揮できるように計画されていました。

2016 IYCの極めて重要な仕事の1つは、2016-2018年度の新しい国際ユース代表(IYR)を選出することでした。ラテンアメリカエリア・元エリアユース代表リカルド・カルデナスが公明正大な手続きを経てIYRに選出されました。

2016 IYCは、「遊びの要素を全く排除した学びの場」として企画されたわけではありません。代表達は、台北市の最も素晴らしい文化施設と文化活動の幾つかを訪問し、参加することができました。林安泰古厝博物院と国立故宮博物院を訪れたことは、とても勉強になりました。代表達は、地元でとて

ステファニー・スペンサー



代表達は、討論をし、関心事について発言し、少しばかり遊び、足跡を残す為に世界中からやって来ました。

も愛されている小えび釣りにも参加しました。4匹も小エビを捕まえた人が大勢いました。1週間の滞在期間の呼び物といえば、代表者達の間で大好評だったカルチャーナイトのプレゼンテーション、ワズリンピック、士林夜市での食べ物お宝探しゲームなどが挙げられます。

2016 IYCは、全体として大成功でした。何にも増して重要なことは、代表者達が有益なセッションで得た知識で力を得て、豊富な文化体験の記憶と、仲間と築いた永遠の友情を携えて胸をときめかせてくれる台北市を後にしたことです。

ステファニー・スペンサーは、ユース・ワールドの編集担当者&直前ユース・インターン(IPYI)です。





ユース

ユース・パネルディスカッション—高揚する瞬間

フォラ・アジョメイル&ステファニー・スペンサー

第16回国際ユースコンボケーションの7日間の開催期間中には、気分の高揚する瞬間が数多くありました。その最たる例が、多くの期待が寄せられたユース・パネルディスカッションでした。ワイズメンズクラブ国際協会に起こった最近の変化に直面して、それらについてワイズメンズクラブ国際協会のリーダー達がユースと議論を交わし、ワイズ運動におけるユースの役割と将来の支援のあり方を問う、またとない機会としてパネルディスカッションが企画されました。

国際ワイズファミリーの中で様々な経験を持ち、要職に就いているジョアン・ウイルソン国際会長、西村隆夫国際書記長、ジェイムズ・オレ国際本部事務局員・元国際ユース代表、山田公平YMCAリエゾン国際事業主任、国際ユース代表アフォラビ・アジョメイルの5人のパネリストが出席しました。

YMIとYMCAの関係について

どのようにすれば、自国でワイズメンとの良い協力関係が築けるかについては、YMCAのリーダー達の間でも大きな意見の相違があります。両者が好意的な感情を抱いている地域もあれば、問題を抱えている地域もあります。従って、協力関係を築くことが可能なプロジェクトの計画に関して具体的な話し合いを持つことから始めると良いでしょう。より強い協働関係を築く為には、YMIとYMCAの関係について国レベルで話し合いを始める必要があります。プロジェクトには、両者の合意が必要です。幾つか例を挙げれば、A)難民、特に若者の難民を支援する。B)大災害の被災者を支援する。C)それぞれの国で苦しんでいる特定の人達を支援する。D)地球規模の気候変動とそれに関連する問題に取り組む為に若者を巻き込むキャンペーンや活動を行なう。などです。

YMIとYMCAがそのような協力関係について合意すれば、ワイズメンは、YMCAのニーズに応える、より効果的な方策を立案する為に現在の支援体制と提案された協力プロジェクトを見直す必要があります。一方で、YMCAのリーダー達は、ワイズメンズクラブはないがYMCAはある地域で新しいクラブをチャークターする支援を行うために、ワイズメンズ運動に新会員を紹介すると誓約すべきです。

山田公平YMCAリエゾン国際事業主任



パネリスト:ジョアン・ウイルソン、アフォラビ・アジョメイル、西村隆夫、山田公平、ジェイムズ・オレ

たが、国際的に見るとユースの数は、減少しました。このような状況に対処する為にどのような戦略が練られているのでしょうか?また、若者の入会者を増やす為にワイズユースとユースクラブは、何ができるのでしょうか?

2. YMIとYMCAとの間には、長い歴史的関係があるにも関わらず、国際的に見ると地域によって様々です。国際的にこの関係について構築し、強化する為のどのような戦略が実行されており、それがユースにどのような影響を与えているのでしょうか?

次ページ下段に続く



国際大会のIYC参加者



ユース

ユヴァ・サラパムーインドのユースキャンプ

2016年9月9日～11日に開催された、インド中西区の地区レベルのユースキャンプであるユヴァ・サラパム(若者は語る)には、中西区の4つの部から59名の若者が精力的に参加しました。

キャンプは、アイザック・パラシンカル元国際会長が座長を務める「ワイスメンズクラブ国際協会—ユースへのコミットメント」と題された対話形式のセッションで始まりました。それに続く緊張をほぐす為のセッションでは、進行役を務めたキャンプ・ディレクターのパラカシュ・ジェイムズが、様々な例を引用しながら実行力ある指導者になる為のアイデアを伝授してくれました。

参加者達は、幾つかのグループに分かれて、様々な活動のアイデアを出すように求められました。3日間のキャンプは、野外活動と屋内活動がバランスよく組み合わされていました。



アルバム用の最後の集合写真

ユース・パネルディスカッション—高揚する瞬間 —前ページの続き

パネリストに割り当てられた限られた時間の中で、彼らは、台北で開催された国際議会でもワイス運動を発展させるまでのユースの役割と重要性を強調し、ユースとワイス運動の指導者達との関係を更に強化する為に、このようなフォーラムをエリア、区、部のレベルでもっと開催するとユースに確約しました。(この件に関するパネリストの1人の回答は、前ページの囲み記事をご覧下さい)全体としてユース・パネルディスカッションは、IYCと国際議会の参加者双方にとって記憶に残る行事となりました。

このセッションで用意されていた大きなサプライズは、20年に渡る積極的なワイス運動への関わりと奉仕を称えてジェイムズ・オレガワイスユース名誉の殿堂入りを果たしたことでした。彼は、先ずコメットとして関わり、次にオーストラリアのワイスユース会員となり、ユースインターンとして数年勤めた後に国際ユース代表を務め、国際本部の事務

た。野外活動では、毎朝のエアロビックス運動、毎夕のバーレーボール、ある日の夜には宝探しとキャンプファイアーが行



活気に満ちたグループ討論会

なされました。屋内活動では、キャンプ参加者の才能実演に加えて、集団力学、人格形成、指導者の資質、自己管理、自信醸成などについて専門家から学びました。また、人前での話し方指導、発声法コンペ、クイズセッションなど盛りだくさんでした。

お別れ会では、エッサ・セバスチャン、アーヤ・S.ラジ、ゴーサム・ハリラル、トレーシー・トムソン、デズニー・デヅライン、ダニー・ビジュ・フィリップが優れた貢献、働きぶり、取り組む姿勢を評価され最優秀キャンプ参加者に選ばされました。

パヴィスラン・B.
インドエリア編集担当補佐

局員として引き続きユース活動を支援、奨励して来ました。そのような際立った業績を残した彼は、唯一無比の存在です。

フォラ・アジョメイルは、直前国際ユース代表です。



IYC参加者と国際議会議員



名前は何を語る?

デビー・レッドモンド*

私達のほとんどが、「ワイズメン」という用語に慣れ親しんでいるので、この用語が生まれた経緯やなぜそれが、広く知られるようになったかについて誰かが語ることは、めったにないでしょう。創設者ポール・アレキサンダーは、トレド・オハイオ YMCA の支援を目的とする熱心な男性グループに所属していましたが、17名の男性がトレドと YMCA の名前から採った “Tolymca” と称するクラブを設立しました。このグループが極めて強い権限を持ち、トレド・オハイオ YMCA の為に尽力したことから、オハイオ州 YMCA 担当主事は、1922年2月開催の YMCA 州会議で何人かのメンバーにクラブの活動報告をするようにと依頼しました。

自分達の Tolymca について報告するよう依頼を受けたクラブのメンバーは、その名称が他のクラブで使用できないと悟り、もっと普遍性のある名称を考え出す必要があると考えました。ポール・アレキサンダーは、役者であり著作者でもあるウイル・M. クレシーが YMCA の雑誌に寄せていました記事を長らく読んでいました。(クレシーは、その演技でバラエティー演芸の世界ではその名を知られており、長年に亘って多くの短編戯曲や新聞記事を書いていました。彼は、YMCA 全米戦役評議会が、フランスの米派遣軍に娯楽を提供する為に慰問団を派遣するボランティアとして参加しました。慰問団は、1918年にフランスの戦地を回りました。

彼は、YMCA の雑誌に自分の経験を寄稿し、自らを「東のワ



イズメンの1人)と称しました。“Y's Man”という名称は、彼が YMCA の為に働いていたからであり、「東の」という名称は、彼がニューハンプシャー(アメリカ東部の州)の出身だったからです。しかし勿論、YMCA のキリスト教信仰にも関連しています。クレシーは、Tolymca 昼食会の卓話者として招待され、Tolymca の名誉会員となりました。彼は、この組織の名称をワイズメンと変えることを承認しました。彼らのクラブが最初に認証を受けたトレド・ワイズメンズクラブとして誕生しました。

活動報告を行なった最初の3ヶ月間に7つのワイズメンズクラブが設立され、5月に初めての7クラブ合同例会が開催されました。この例会で米国内にある YMCA にワイズメンズクラブに関する情報を送ることが決まりました。1922年11月までに最初の大会が国際 YMCA 大会の1部としてアトランタ市で開催されました。その際に、オハイオ州、ノバスコシア州、アラバマ州、ニュージャージー州、ニューヨーク市、ブリティッシュコロンビア州、ノースダコタ州、ペンシルベニア州、イリノイ州から17のクラブが参加しました。ワイズメンズクラブは、カナダのノバスコシア州とブリティッシュコロンビア州が加盟したことで国際的な組織となりました。

特筆すべきことは、ウイル・クレシーは、フランスの戦場で毒ガス攻撃を受けた結果1930年に亡くなりました。フランスでの戦争中に毒ガス攻撃を受けて亡くなったもう一人の犠牲者が初代国際書記長兼会計のアール・F. クーンです。彼は、1922年11月にその職に選出されましたが、1923年10月に他界しました。

*デビー・レッドモンドは、国際事業主任(ヒストリアン)です。

YMCA-NSW ブローケンヒル・ワイズメンズクラブを表彰

年が明けてしばらくして、ブローケンヒル・ワイズメンズクラブは、シドニーの YMCA-NSW(ニューサウスウェールズ)を訪問するという思いがけない招待を受けました。これは1,100キロメートルを超える旅となりました。ブローケンヒルクラブは、50年以上に亘る YMCA とブローケンヒル地域社会に対する顕著な貢献を評価されて、シドニーで開催された特別 NSW ビジネス朝食会の場で賞を受賞しました。朝食会には、ホン・ジョン・アジャカ NSW 州高齢化・障害支援事業担当大臣も列席しました。YMCA-NSW 最高経営責任者レイサ・ハートは、地元ブローケンヒル市におけるブローケンヒルクラブの素晴らしい奉仕活動を評価し、この授与式にクラブのメンバーを招待した責任者です。

ブローケンヒル YMCA 総主事シェーン・シムソンズもまた、長年に亘る同クラブの不断の努力と地元地域社会発展の為に果たした重要な役割に感謝の意を表しました。

6名のクラブ会員は、海洋博物館、ダーリンハーバー、YMCA 本部やその他の名所を訪れてシドニーで過ごした2日

間を満喫しました。長年に亘る誠実な奉仕活動に相応しい賞は、それを獲得する為に行なった訳ではないのですが、とても感謝されました。当時のクラブ会長ギャリー・ハリデーが、クラブを代表してこの賞を受け取りました。

ジェニファー・ジョーンズ



YMCA-NSW で特別賞を受賞することになったブローケンヒルクラブの会員



世界各地からの報告

オーストラリアの温室効果ガス排出量削減

ベンディゴYサービスクラブの会員コリン・ランビエは、ベンディゴ科学・発見センターの屋根に11キロワットの太陽光パネルを設置する為に11,000オーストラリアドルを集める「クラウドファンディングキャンペーン」の責任者でした。今回は、ベンディゴ持続可能性グループを代表してコリン・ランビエが行なった2回目の「クラウドファンディングキャンペーン」でした。1回目のキャンペーンでは、地元の図書館の屋根に20キロワットの太陽光パネルを設置する為に25,000オーストラリアドルを集めました。どちらのキャンペーンもベンディゴYサービスクラブ、カンガルーフラットYサービスクラブ、ベンディゴサウスYサービスクラブの支援を受けました。

最初のキャンペーンがユニークだったのは、資金を集めたグループが、図書館の太陽光パネルによって発電された電気によって収入を得たということです。そのグループは、建物の所有者と20年の「電力購入契約」と賃貸契約を結びました。建物の所有者は、屋根で発電される「環境に優しい」電気を安く購入できるので喜んでいる一方で、太陽光パネルの所有者は、今後20年に亘って収入が得られるので喜んでいます。

2回目のキャンペーンは、年間の電気料金を3,000オーストラリアドル削減することによってベンディゴ科学・発見センターの維



持をもっと容易にする為の地域奉仕活動でした。

同じようなモデルをYMCAに応用することができます。YMCAは、自分達が使用している建物の屋根に太陽光パネルを設置し、運営費を抑える為にクラウドファンディングキャンペーンを行うことが出来ます。建物の所有者と契約を結んで、YMCAが建物の使用を止めても、引き続き太陽光パネルから収入が得られるように、建物の所有者と契約を結ぶべきです。

太陽光システムを設置することは、単に経費を削減するだけでなく、温室効果ガスの削減にも役立つのです。発電の為に主に石炭を使うオーストラリアのような国は、温室効果ガスの排出量を大幅に削減する手助けをする為に再生可能エネルギーへの転換が必要です。なぜなら、オーストラリアは、国民一人当たりの温室効果ガス排出量が世界で最も多い国の1つだからです。

コリン・ランビエと編集担当者

「太陽光パネル」と一緒に写るコリン・ランビエ。1枚のパネルは、44の四角の枠で構成されており、それぞれの枠が44枚の太陽光パネルの1枚を1枚を表しているので、合計で11キロワットになります。寄付をした人達は、パネルを1枚寄付するように求められました。四角の枠内にある図柄は、名前もしくは会社のロゴです。この写真付パネルは、クラウドファンディングキャンペーンを実施する上で、有益なマーケティングツールとなりました。スポンサー探しの活動の大半は、ソーシャルメディアを通じて行なわれました。

デンマーク:ワイズメン プロジェクト資金獲得の為に プロモーション用の物品を販売

Vejle Vadestedets ワイズメンズクラブは、昨年「ワイズ・デザイン」という名称のプロジェクトを立ち上げました。その目的は、ワイズ運動の促進に役立つようにワイズメンズクラブのロゴの入った物品を作ることでした。このプロジェクトは、大成功を収め、初年度の販売額は、15,000ユーロでした。販売から得られた収益は、デンマーク区のプロジェクトの為に用いられます。

この小さな「事業」の考えが実を結ぶまでには、長い時間がかかりました。クラブ会員の中には、衣類、バッグ、巻き上げ式

カーテン、ビーチフラッグやその他の物品を販売して収益が上がるかどうかについて懐疑的な会員もいました。しかし、現在では、それが名案であることについては、誰も疑いを挟みません。

我々の活動は、順調に滑り出しました。他クラブも区も我々の活動を歓迎し、我々の物品を格安の値段で製作することができました。ワイズ・デザインプロジェクトの後ろ盾となっている委員会のLars Gronfeldtは、「このことは、我々にとって大きな意味があり、ワイズ運動の広報活動に関わることによって区とクラブの役に立てて嬉しい。」と語っています。ワイズ・デザインは、Vejle Vadestedetsワイズメンズクラブの4名の会員から構成される小さな委員会によって運営されています。全員がボランティアとして働いていることが、経費を抑え、まずはの収益が上がっている理由です。

ワイズ・デザインから支援を受けているのは、デンマークのワイズメンズクラブだけではありません。ワイズ以外の組織からも支援要請があります。

ワイズ・デザインは、いろいろなプロモーション用の物品でデンマークとヨーロッパの全てのワイズメンズクラブを喜んで支援いたします。もしワイズ・デザインに関してもっと知りたいならば、ホームページwww.ysdesign.dk（デンマーク語）をご覧下さい。

エヴァン・ヨハンセン





世界各地からの報告

鉄は熱いうちに打てー中西インド区の2つのプロジェクト

若き頭脳たちに手を差し伸べることを目的とした2つのプロジェクトに対して中西インド区の当局と一般市民から大きな反響がありました。

1つ目の読書を通じた学習プロジェクトは、国立と州立の学校の生徒達に焦点を当てて1年間に亘って学校に地方日刊新聞を10部配布し、学校の図書館に本を寄付するというプロジェクトです。マドフラム・マラヤラム(心地よいマラヤラム語)プロジェクトは、母語であるマラヤラム語に対する愛を育てる為に、主要なマラヤラム語日刊新聞の支援を受けて10年以上続いているプロジェクトです。マラヤラム語新聞は、毎日その内容について討論することによって子ども達が、一般常識と言語能力を向上させる目的で授業のある日に教室で回観されます。

区にある多くの部の6つのクラブが、生徒達を支援する目的でこの活動を優先して実施しています。

2つ目のプロジェクトは、大学生を対象に実施されている、交



通安全意識向上
キャンペーンです。これは、中西インド区第6部がコートン市車両担当部署と協力して立ち上げたプロジェクトであり、ワイス運動において大きな成果を上げつつあります。

ヘリティッジ・シティーワイズメン(中西インド区第1部)によるセント・ルイス・ハイスクールでの新聞の配布。学校関係者、生徒と共に写るニジェ・モハンダス・クラブ会長とリーダー達

行動するニューヨークのワイズメン



アメリカ合衆国ニューヨーク州のロングアイランド・ワイズメンズクラブは、4月29日に困窮者の為の慈善事業(サンドイッチ作り)を実施しました。当日ニューヨークに滞在していたワイズメンズワールド編集担当者コシー・マシューもこの行事に参加し、会員に挨拶を述べました。4月上旬にニューヨーク・フローラルパーク・ワイズメンズクラブは、腎臓財團を支援する為の募金集め夕食会を開催しました。アメリカ合衆国エリア会長チャーリー・レッドモンドがこの夕食会に出席しました。



コートン市、セヴァラ聖心大学の
交通安全講習会に参加する大学生

周囲に気を配っていたならば65%の交通事故を防ぐことができたであろうある調査は述べています。

2016年8月16日に開催された講習会には、コートン市内の主要大学の学生が900名参加しました。車両検査官デイリップ・クマール氏がこの講習会を主導しました。ベクソン第6部部長から本年度中に10,000人以上の若者を対象に、市内の9大学で同じような講習会が開催されると発表がありました。

パヴィスラン・B. インド編集補佐

スリランカのデング熱を予防する



スリランカのネゴムボ・ワイズメンズクラブは、5,000人以上が生活するサラドゥア地区を清掃する地域奉仕事業を実施しました。このプロジェクトは、ネゴムボ市議会保健局、警察署、サラドゥア道路福祉協会、オリエンタル・ライオンズクラブ青年部の支援を受けて実施されました。このプロジェクトの主な目的は、この地区を清潔に保ってデング熱を予防することです。



国際本部からのお知らせ

2016年国際兄弟クラブ(IBC)録

毎年、包括的な国際兄弟クラブ録が献身的な編集責任者であるマリー・スティーヴンズによって注意深く編集されます。彼は、1983年から継続してこの仕事に携わっています。この国際兄弟クラブ録は、世界中の全ての2兄弟クラブ、3兄弟クラブ、4兄弟クラブにとって不可欠な手引書となっています。国際本部として、この素晴らしい国際兄弟クラブ録を編集された不断の努力に関してマリーさんに心から感謝申し上げます。これは、ホームページwww.ysmen.org からダウンロードすることができます。彼の報告によると2016年8月28日



現在、50カ国で1044組の国際兄弟クラブ関係が結ばれています。

国際兄弟クラブプログラムは、異なる国に位置する兄弟クラブが互いに学びあい、より良く理解する為の絆を深めてくれます。国際兄弟クラブ関係は、クラブが国境を少し越えた場所に位置していようが、世界のどの場所に位置していようが、ワイズメン、ワイズウイメンの仲間とその家族が、互いのクラブについて学び、交流する手助けをすることを目的としています。ワイズウイメンクラブの場合は、姉妹クラブという名称を使用しても構いません。

2016国際議会が8つの新しいTOF-GPF プロジェクトを承認

2016年7月-8月に台北で開催された2016国際議会において以下の総額141,406スイスフランの8つの新しいTOF-GPFが承認されました。

- ・韓国:ワイズメン医師団無料医療サービス(カンボジア、ラオス、ミャンマーでのプロジェクト)韓国・釜山(24,500スイスフラン)
- ・アジア:「健康な未来」ティーン・エイジャー人格形成プログラム、モンゴルYMCA&ウランバートルYサービスクラブ(7,616スイスフラン)
- ・カナダ／カリブ海:ハイチ・デカドーム、アン・アーバーYMCA &ワイズメンズクラブ・カリブ海区(9,534スイスフラン)
- ・アフリカ:マダガスカル農村部の若者の社会・経済的回復力の向上、ケニア・国際Yケア＆ナイロビワイズメンズクラブ(29,500スイスフラン)
- ・ラテンアメリカ:Empren de dores Plus、ペルーYMCA&ペルー区・リマ・サン・ボルジャワイズクラブ(7,150スイスフラン)
- ・ヨーロッパ:ネパール貧困地域における助産婦養成女子教育、スウェーデン・ヴァステラスワイズメンズクラブ&ネパール・ス



トリートチルドレン協会(30,000スイスフラン)

- ・インド:コンピューター訓練、貧しい女性の洋服仕立て訓練、臓器(眼球)提供、中央インド区マチリパトナムワイズメンズクラブ(9,143スイスフラン)

- ・インド:社会経済学的に虐げられた女性の技能訓練、西インド区カルヴァンチャルワイズメネットクラブ(23,963スイスフラン)

1973年にTOF-GPFプログラムが始まって以来、ワイズメンズクラブ国際協会は、約6,300,400米ドルを世界中の様々なYMCA、地域プロジェクト、緊急災害支援の為に寄付してきました。現在、承認された8つの新しいプロジェクトと合計16の国と地域において実施中の17のプロジェクトがTOF-GPFの支援を受けています。

これらのTOF-GPFプロジェクトに加えて、30年以上に亘ってメネットは、独自の国際プロジェクトを支援してきました。本年度は、イタリアでの新たなプロジェクトを承認しました。シデルノYMCA「早く学んで、賢くなろう!-社会的融和によって移民と難民に力を与えよう」(10,863スイスフラン)

小話コーナー

簡単なことだよ…ワトソン君

シャーロック・ホームズと医者のワトソンは、キャンプ旅行に出かけた。彼らのテントを張って眠りに落ちた。数時間後、ホームズは、彼の誠実な友人を起こして言った「ワトソン君、空を見上げて、何が見えるか僕に言ってくれるかい。」ワトソンは、答えた。「何百万という星が見えるよ。」「それは、君に何を語ってくれるんだい?」ワトソンは、1分ほど熟考した。

「天文学的に言うと、それは、何百万もの銀河系があつて、可能性としては、何十億もの惑星があることを語ってくれる。占星学的に言うと、それは、土星が獅子座にあることを語ってくれる。時間に関しては、およそ3時15分過ぎであることを語ってくれる。神学的に言うと創造主は万能で、我々は、取るに足らない存在であることは、明白だ。気象学的に言うと、どうやら明日は、良い天気になりそうだ。君には、何を語ってくれるのかね?」

ホームズは、しばらく黙り込んだ後で言った。「誰かが我々のテントを盗んだ。」

パンガロールのあるホテルのトイレの壁掛けの話



パクリですって…どうして? 主人のドナルドが私に言ったのよ、「もし、我々が勝ちたいなら、オバマ家のやり方を参考にしようってね。」

モハン・シヴァナンドの風刺漫画。許可を得て転載



MANTRA FOR THE SOUL

マックス・エディガー*

愛されあればーそして多くの対話

我々は、ここ数週間の間に起こった凶悪な事件のニュースに圧倒されました。毎日のように夕方のニュース報道やビデオで、2、3例を挙げるだけでも、合衆国の銃撃事件、アフガニスタンの恐ろしい爆撃、バングラデイシュのレストランの致命的な襲撃事件の身の凍るような恐怖を放送しています。これらの事件は、我々を不安にさせ、おそらくは恐怖を抱かせました。報道機関の反応は、迅速かつ多様であり、その多くは、この凶悪犯罪増加の原因を理解し解明しようとしています。フェイスブックの1つの投稿が特に私の目を引きました。

「アルトン・スターーリングさんが殺される必要はなかった。フィアンド・カスティレさんが殺される必要はなかった。ダラスの警官達が殺される必要はなかった。もうこんなことは止めよう。非難をするのを止めよう。殺人を止めよう。憎しみを止めよう。」

これに加えるべきは、バクダッドの人達が殺される必要はなかった。ダッカのレストランで昼食を楽しんでいた人達が殺される必要はなかった。ここ数ヶ月間にその他の暴力に苦しんでいた人達は、その必要はなかった。です。

これらの言葉が安らぎと平和をもたらすのに十分であってほしいと、どれほど願っても、言葉は、どれほど力を持ち、的を射たものであっても、我々の社会が必要としている癒しと変革をもたらし得ないと分かっています。愛と多くの正しい努力だけがそれを作成し遂げることができます。

もうこんなことは止めよう。非難をするのを止めよう。殺人を止めよう。憎しみを止めよう。」そうです。でもどのような方法で?この類の質問がアジアにあるこの3ヶ月間の平和の学校(www.interfaithforum.org)で私達が扱おうとしている幾つかの課題なのです。明らかに3ヶ月という期間は、そのような複雑な課題に取り組む為に必要な答えを見つけるには十分とは言えません。しかしながら、私達が少なくとも行動に移すことのできる方法について、いくばくかの希望を抱き始めることを願っています。そうすれば、差別のない平和な地域社会に関するビジョンが目に見える形で実現され始めるのです。

私達のセッションで重点を置いている最も重要な議題の1つは、対立解消過程における対話と討論に関する議題です。幾つかの辞書の定義によると、*discussion*(討論)という単語は、ギリシャ語に由来しており、2つの部位から成り立っています。1つ目が“discus”で、オリンピック競技で投げた距離を競う*discus(円盤)*と同じ語です。2つ目が“cussion”で *percussion*(衝撃)や*concussion*(激動)に用いられているのと同じ語源です。従って、*discussion* という語は、「相手を攻撃して打ち負かす為に考えを投げる」ことを意味します。

dialogue(対話)という単語もギリシャ語に由来しており、まったく異なった意味を持っています。“dia”は、夏の暑い日に窓から吹き込んでくるそよ風や穏やかな水の流れのような穏やかな流れを意味します。単語の2つ目の部位の語源である“logos”は、ヨハネによる福音書第1章1節「初めに言(ことば)があった。…」にあるように究極の真理を意味します。従って、*dialogue* は、人と人の間、又はグループとグループの間の穏や

かな真理の流れを意味します。それは、「相手」は、敵ではないので、相手の言うことを傾聴し、我々と共有すべきある真理を持っている事を認めることを示唆しています。このことは、我々が真理を知っている事を相手に説得する為に自分達の考えを相手に投げかけることよりも、はるかに重要なことです。自分達と相手の2つの「真理」を1つに統合することで、愛と地域社会を築き上げる余地を見つけ出しができるのです。

対話をする為には、単に相手を容認したり、受け入れたりするのではなく、自分達とは、異なる人達と進んで関わらなくてはなりません。対話と関わりの中で、誰もがある真理を持っており、彼らの考え方や経験を傾聴することによって、彼らから真理を学ぶことが重要であると認識するのです。*listen* を意味する漢字の「聽」は、耳、心、存在、目、集中、精神を意味する六つの部位から成り立っています。この字は、傾聴することによって、相手の語った言葉に含まれているであろう真理を受け止める為に、語られた言葉に全神経を集中することを強調しています。

相手を非難しても何の役にも立ちません。返事を要求するだけでは何の役にも立ちません。なぜという質問を真面目にする勇気を持つ必要があります。そして対立の根本的原因を見つけては、相手との関わりと対話を重視し、自発的に自尊心、思い込み、偏見を捨てることが必要です。そうすれば、相手に関する思い込みで判断するのではなく、相手の持っている眞実に耳を傾けることができるのです。

それができれば、我々の地域社会に癒しをもたらす為にできる事や、すべき事について、はるかに明確なビジョンを持つことができるのです。

そうすることは容易ではありませんし、強制してもいけません。心の準備が整って初めて相手と関わりを持ち、対話を始めるべきです。しかし、相手が行動を起こす準備ができるまで、待つ必要はありません。私達は、今自ら進んで行動を起こすことができます。声が聞き届けられていない人を見つけ出し、その人と関わりを持ち、対話する方法を探りましょう。それはとても小さな一歩かもしれません、大切な一歩なのです。老子は「千里の道も一歩より始まる」と語りました。私達は、その第一歩を踏み出し、長い旅を歩み始める能够性があります。

我々の世界で癒しに向かって前進する為に必要なものは、自分達の生活が社会全体と何の関わりもない感じている人達と関わりを持ち、対話しようとする真摯な愛と勇気です。そうすれば、神が創造した世界の多様性は、もはや恐れるに足りません。むしろ、統一体の中の祝福すべき美しきものになるのです。

*マックス・エディガーは、カンボジアで設立された「平和の学校」の運営責任者です。www.mennolink.org/peace 平和・正義支援ネットワーク・合衆国メノナイト教会ネット出版、ピースサインズの許可を得て転載。

